
みずほ経済・金融ウィークリー

2022.5.17

みずほリサーチ&テクノロジーズ

先週の内外経済・金融市場動向・評価 & 今週の注目点

【先週の内外経済・金融市場動向・評価】

- 世界の新規感染者数は一時的に増加しているが、欧米を中心に感染対策緩和の流れは変わらず。日本は5月連休明けの検査増で新規感染者数が再び増加
- 米国の4月コアCPI上昇率は前月比+0.6%と高止まり。消費者のインフレ期待も上振れたままであり、強いインフレ圧力の残存を示唆。ユーロ圏の3月鉱工業生産は前月比▲1.8%と2カ月ぶりに減少。資源高による生産コストの増加や供給網混乱による部材調達難が背景。中国の4月の自動車販売は前年同期比▲43.4%と大幅減。生産拠点が比較的集中する吉林省、上海市等での感染による減産が影響
- 日本の3月経常収支は黒字幅が拡大。4月は貿易赤字の拡大が予想されるが、4～6月期全体でみれば経常収支の赤字転落は一先ず回避される見込み
- ダウ平均は、FRBによる積極的な金融引き締めへの警戒や景気減速懸念を背景に、年初来安値を更新。足元では下げ止まり、反発。日本株も、米国株に連動する形で下落

【今週の注目点】

- 米国の4月のコア小売売上高はインフレ下も高水準が続くと予想。同月の中古住宅販売件数は3カ月連続の減少となる見込み
- 日本の4月全国CPIは、昨春の携帯電話料金的大幅値下げの影響が剥落し、コアCPI(生鮮食品を除く総合)が前年比+2%超まで上昇する見込み

《目次》

＜新型コロナウイルス関連＞

世界の感染動向 P 3

日本の感染動向 P 7

中国の感染動向 P11

＜各国経済・金融政策・政治＞

米国 P13

欧州 P14

中国 P15

日本 P16

ロシア P17

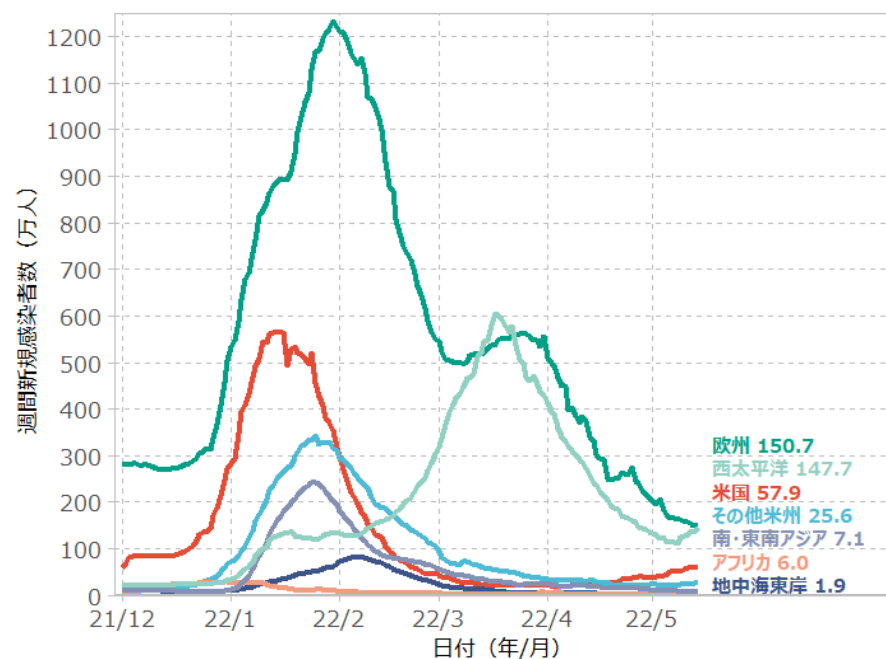
＜金融市場＞ P18

＜巻末資料(主要経済指標一覧・スケジュール)＞ P19

世界の感染動向：新規感染者は一時的に増加も、欧米の制限緩和方針に影響なし

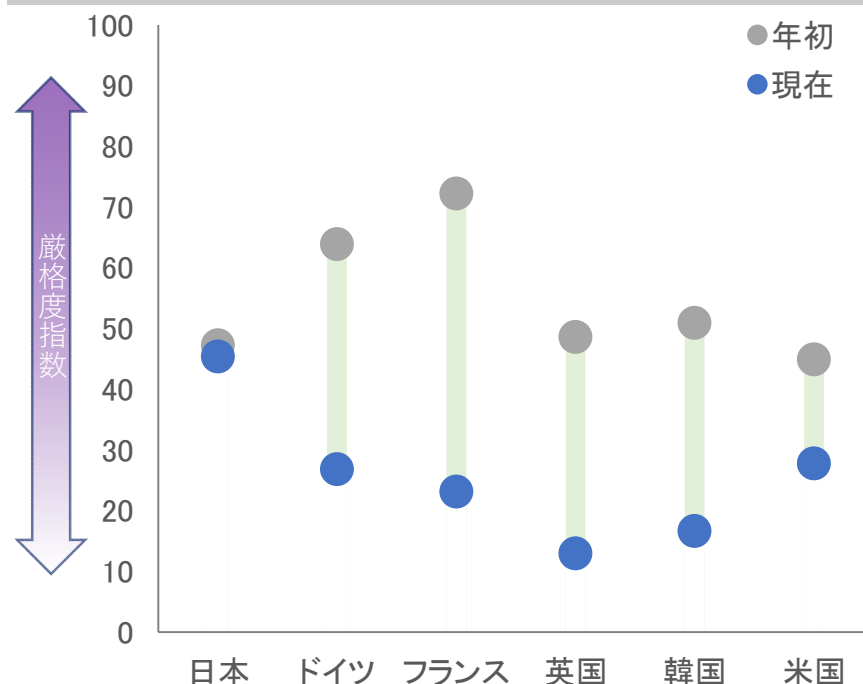
- 世界の週間新規感染者数は5/14時点で397万人(5/7時点:365万人)と増加に転じる
 - アジア太平洋地域の増加が主因。台湾の感染急増のほか、GW明けに伴う日本の感染者増が押し上げた格好。米国では4月以降、感染が再拡大しているが、現時点では昨年末のオミクロン株初期ほどの急増はみられず
- 欧米主要国ではウィズコロナのもとでの経済正常化に向け行動制限を緩和(＝感染対策厳格度指数は低下傾向)
 - 欧州ではマスク着用義務の廃止に加え、ワクチン未接種者も含め入国時の規制を緩和

世界の週間新規感染者数(地域別)



(注) 5/16集計値(直近データは5/14)。地域区分はWHO基準
(出所) Johns Hopkins University、WHOより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

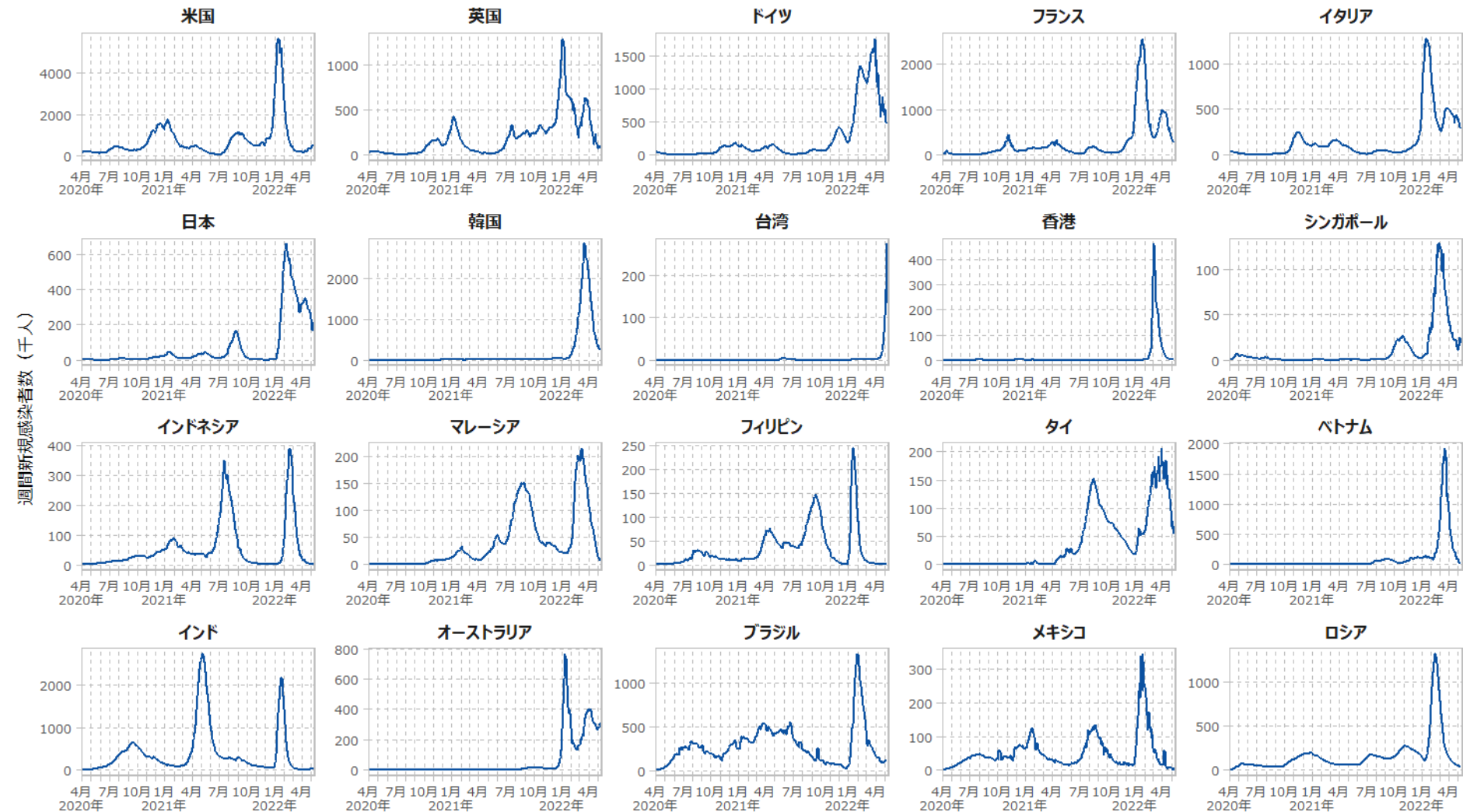
欧米主要国の感染対策厳格度指数(Stringency Index)



(注) 5/14集計値。米国はワクチン接種完了者のみ。その他はワクチン未接種者含む。厳格度指数は0～100の範囲をとり、値が大きいほど感染対策が厳格であることを示す
(出所) Our World in Dataより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

世界の感染動向：台湾の感染が急増。米国は緩やかな再拡大が継続

主要国の週間新規感染者数

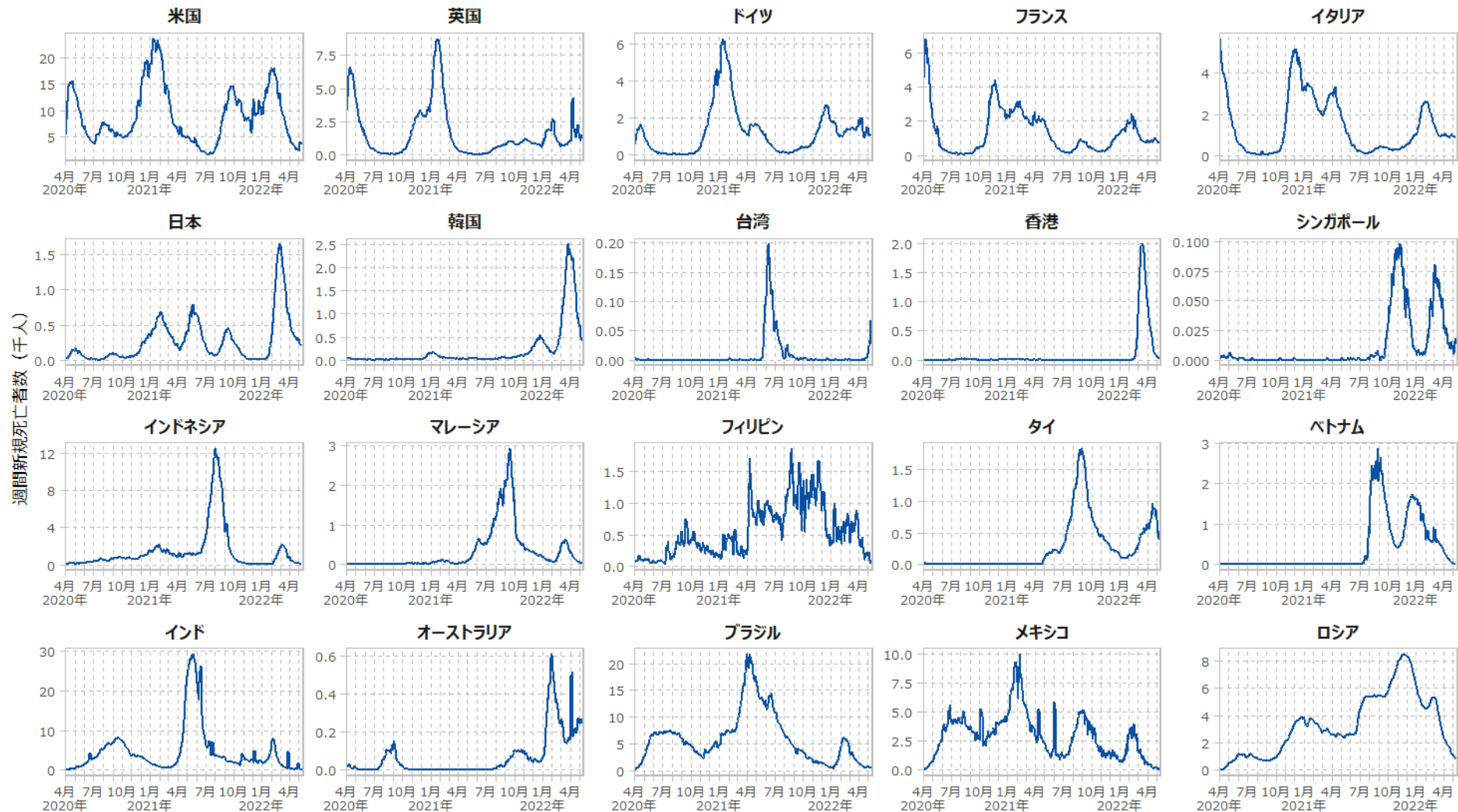


(注) 5/12時点集計値(直近データは5/10)

(出所) Johns Hopkins Universityより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

世界の感染動向：世界的に死亡者数が減少傾向。台湾は足元で死亡者増加

主要国の週間新規死亡者数

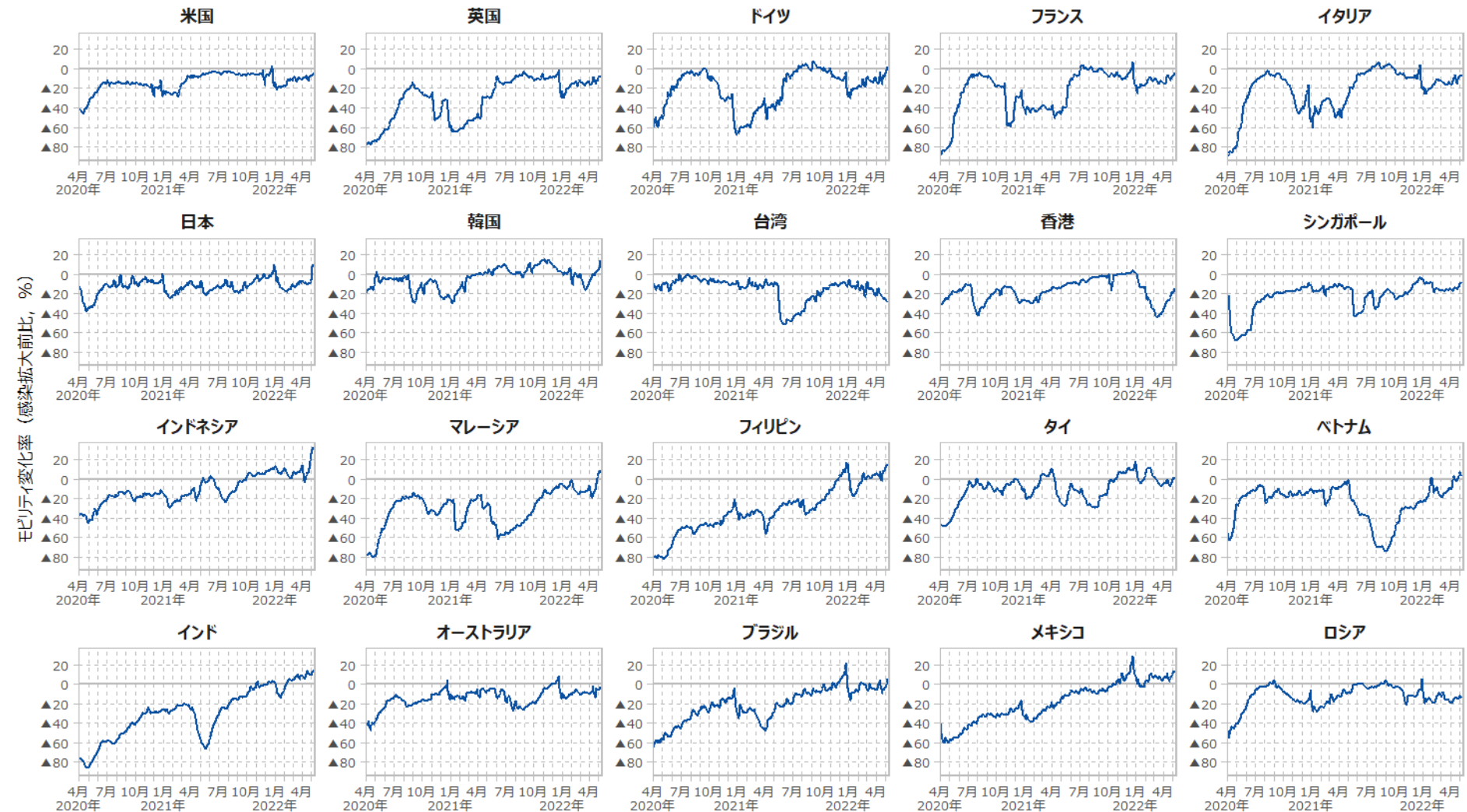


(注) 5/12時点集計値(直近データは5/10)

(出所) Johns Hopkins Universityより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

世界の感染動向：欧米のモビリティがコロナ禍前水準近傍へ回復

主要国の小売・娯楽モビリティ



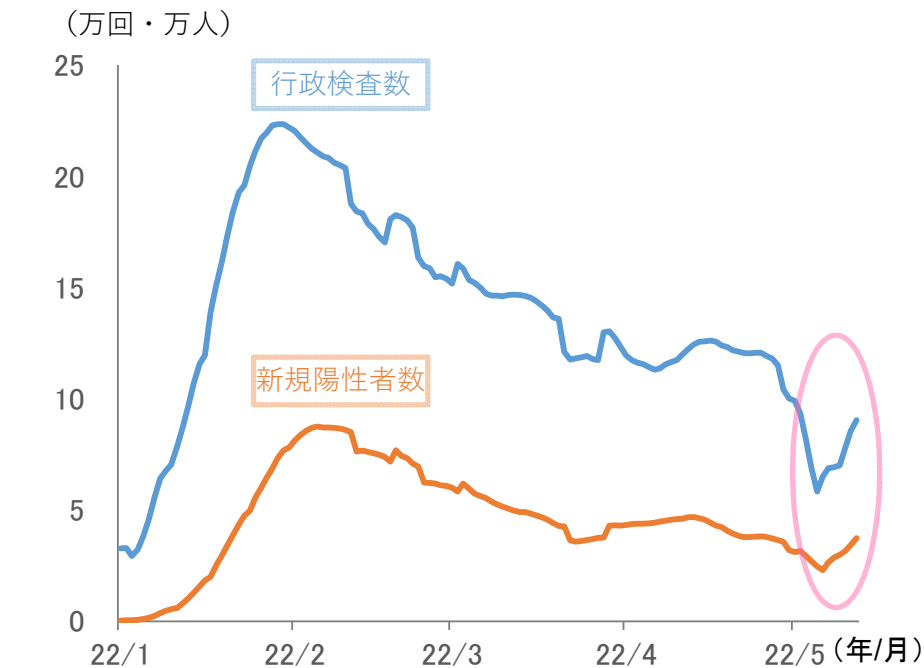
(注) 5/10更新版(直近データは5/8)。後方7日移動平均

(出所) Google LLCより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本の感染動向：連休明けの日本の新規感染者数は増加に転じる

- 日本の新規感染者数は増加
 - 連休明けの検査数増が主因。過去のGWの傾向を踏まえると、今後1週間程度は動向を様子見る必要あり
 - 地域別では、大都市圏に比べ、九州・沖縄や中国・四国などの地方が相対的にリバウンドが大きい傾向
- GWの全国の小売・娯楽モビリティは昨年末の水準まで回復
 - 東北や北陸など地方の人出が昨年末を上回る水準まで急回復する一方、東京など都市圏の回復は緩慢

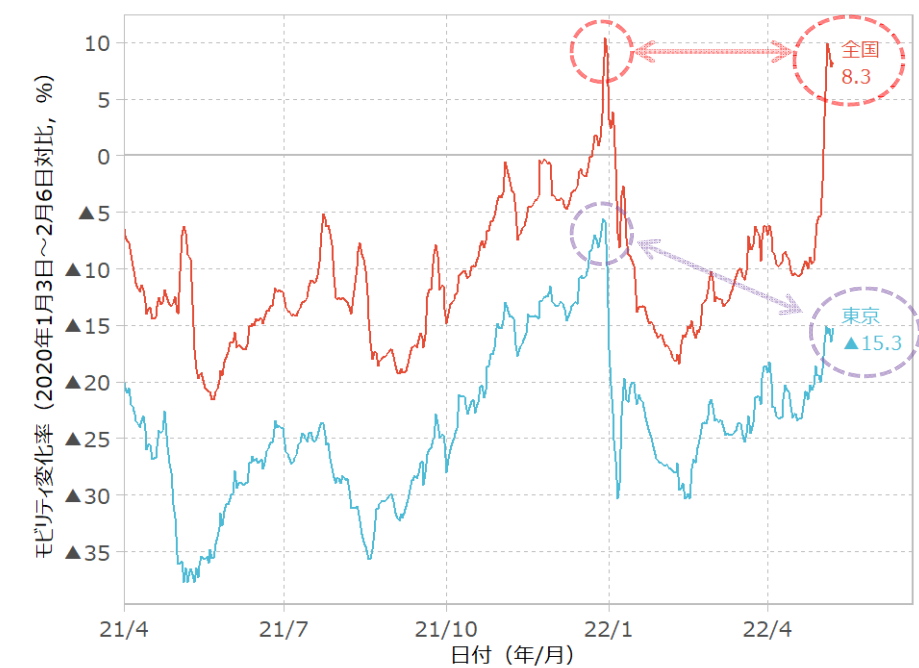
行政検査数と新規感染者数



(注)5/15時点集計値(直近データは5/12)

(出所)厚生労働省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

全国と東京の小売・娯楽モビリティ

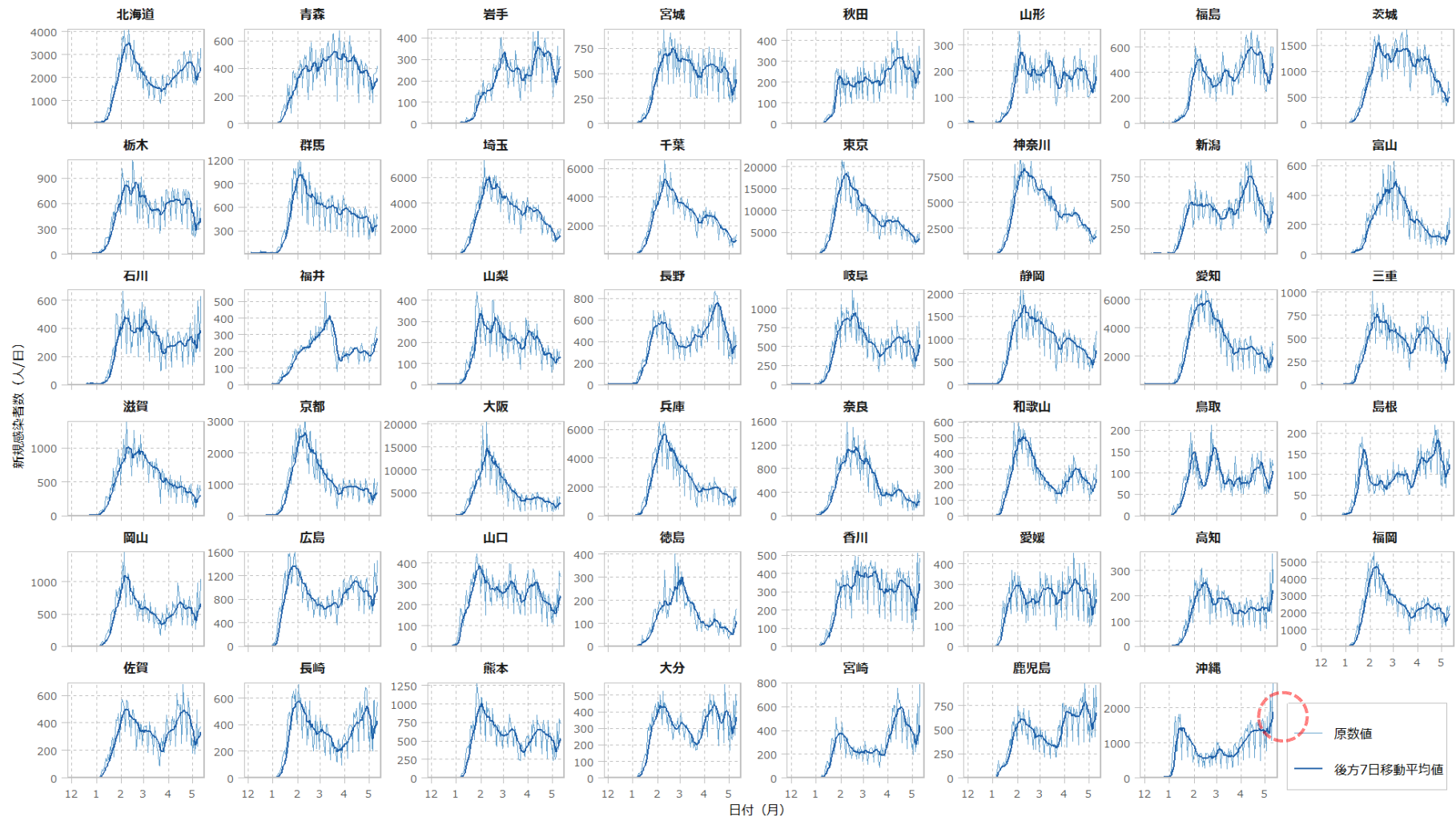


(注)5/10時点版(最新値は5/8)、後方7日移動平均値

(出所)Google LLCより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本の感染動向：都道府県別の新規感染者数

- 全国的に検査増で感染者数が増加。沖縄は1月の第6波ピークを上回るが、感染は若年層が中心

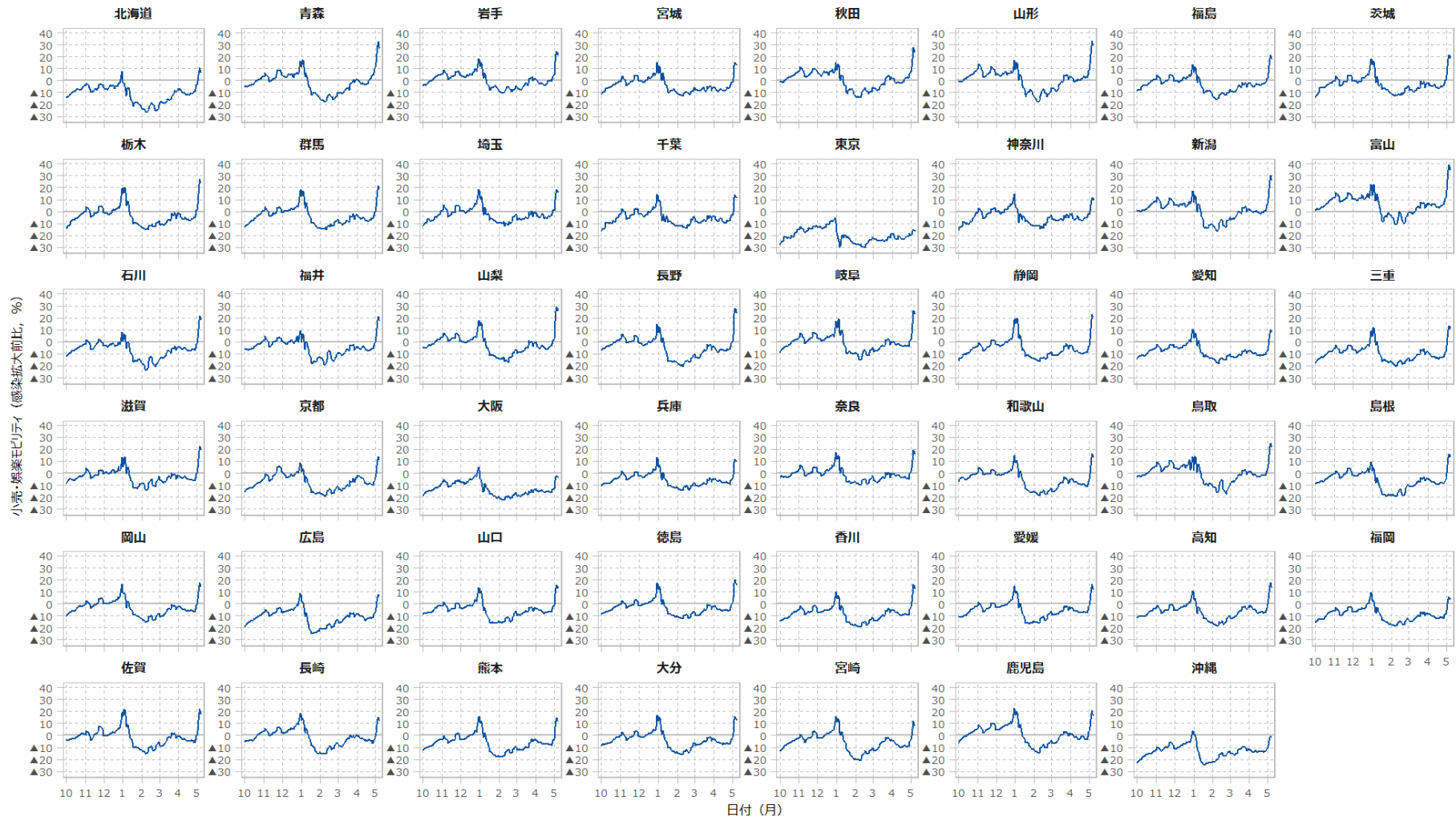


(注) 5/12時点集計値(直近データは5/11)

(出所) <https://covid-2019.live>より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本の感染動向：都道府県別の小売・娯楽モビリティ

- 東北、北陸、中部、中国・四国など、地方の人出はGWに昨年末を上回る水準まで急上昇



(注) 5/10更新版(直近データは5/8)

(出所) Google LLCより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本の感染動向：都道府県別の入院病床使用率

- 入院病床使用率は全国的に落ち着き。沖縄はGW明けに再び入院病床使用率が40%台に上昇

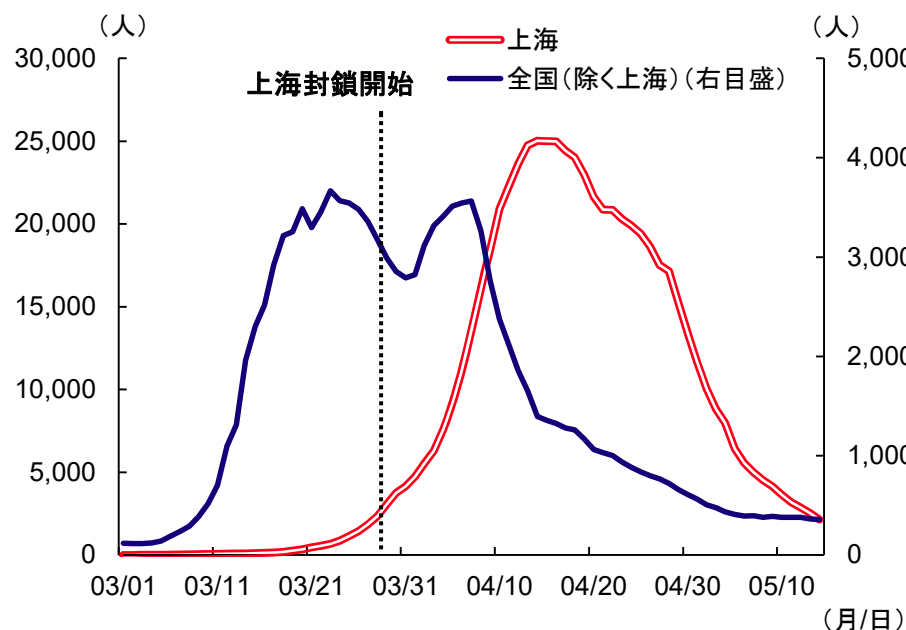
		入院確保病床の使用率 (%)														
		2022/1/26	2022/2/2	2022/2/8	2022/2/16	2022/2/23	2022/3/2	2022/3/8	2022/3/16	2022/3/23	2022/3/30	2022/4/6	2022/4/13	2022/4/20	2022/5/1	2022/5/10
北海道・東北	北海道	24%	30%	31%	40%	37%	38%	36%	26%	20%	16%	18%	16%	16%	18%	18%
	青森	21%	26%	36%	41%	48%	49%	49%	36%	32%	27%	27%	22%	22%	23%	22%
	岩手	38%	58%	46%	46%	48%	43%	40%	37%	37%	22%	25%	25%	20%	16%	24%
	宮城	16%	24%	32%	41%	47%	38%	30%	25%	23%	23%	18%	18%	20%	17%	18%
	秋田			34%	28%	31%	37%	37%	25%	28%	27%	24%	21%	21%	31%	27%
	山形	34%	32%	43%	41%	41%	31%	37%	37%	23%	30%	21%	23%	15%	17%	10%
	福島	37%	43%	45%	48%	48%	45%	34%	28%	23%	32%	31%	31%	29%	29%	26%
関東	茨城	25%	33%	32%	36%	47%	44%	35%	31%	30%	26%	22%	21%	15%	20%	13%
	栃木	31%	36%	38%	43%	38%	38%	31%	26%	24%	22%	20%	23%	18%	19%	11%
	群馬	54%	64%	60%	65%	56%	52%	47%	40%	38%	36%	33%	31%	29%	30%	26%
	埼玉	48%	51%	57%	59%	59%	55%	52%	45%	40%	40%	36%	35%	31%	25%	22%
	千葉	42%	63%	64%	68%	71%	64%	60%	51%	35%	28%	25%	24%	19%	16%	11%
	東京	43%	51%	56%	58%	58%	52%	46%	37%	30%	26%	25%	27%	24%	20%	15%
	神奈川	43%	55%	68%	71%	70%	69%	59%	50%	41%	34%	32%	29%	25%	23%	18%
中部	新潟	28%	28%	28%	26%	28%	26%	23%	19%	17%	15%	15%	17%	19%	19%	14%
	富山	27%	29%	32%	30%	31%	32%	30%	23%	17%	12%	13%	9%	5%	5%	11%
	石川	54%	68%	65%	54%	37%	31%	31%	29%	23%	12%	13%	14%	16%	21%	22%
	福井	15%	19%	21%	22%	23%	27%	27%	29%	23%	19%	13%	15%	16%	14%	15%
	山梨			47%	70%	59%	60%	46%	36%	46%	43%	33%	30%	29%	25%	16%
	長野	33%	41%	44%	37%	38%	33%	30%	24%	25%	20%	22%	22%	25%	26%	27%
	岐阜	55%	66%	52%	56%	52%	43%	40%	37%	28%	20%	23%	27%	27%	25%	18%
近畿	静岡	28%	43%	39%	49%	57%	44%	42%	25%	22%	13%	13%	15%	17%	9%	16%
	愛知	23%	41%	57%	74%	68%	63%	59%	50%	41%	29%	23%	25%	25%	22%	22%
	三重	35%	47%	49%	55%	53%	41%	37%	24%	25%	26%	21%	24%	19%	16%	14%
	滋賀	49%	69%	69%	70%	74%	76%	68%	56%	45%	38%	29%	27%	29%	22%	19%
	京都	41%	55%	59%	72%	71%	70%	60%	44%	42%	25%	24%	21%	19%	19%	17%
	大阪	54%	70%	82%	83%	75%	72%	69%	55%	42%	28%	25%	28%	26%	21%	17%
	兵庫	54%	67%	73%	76%	75%	67%	58%	48%	36%	26%	24%	27%	27%	23%	20%
中国・四国	奈良			78%	73%	74%	65%	59%	60%	44%	33%	26%	24%	23%	11%	11%
	和歌山		68%	65%	63%	54%	48%	34%	23%	20%	21%	35%	33%	28%	29%	25%
	鳥取	25%	25%	24%	23%	24%	23%	24%	16%	14%	17%	13%	17%	15%	15%	17%
	島根	38%	33%	30%	27%	24%	25%	34%	21%	17%	19%	15%	18%	15%	14%	9%
	岡山	34%	44%	53%	55%	51%	42%	41%	24%	18%	15%	14%	25%	27%	21%	17%
	広島	60%	53%	51%	56%	46%	42%	35%	24%	22%	20%	17%	29%	32%	33%	25%
	山口	55%	44%	43%	39%	42%	37%	39%	35%	27%	25%	26%	34%	21%	17%	15%
九州・沖縄	徳島	22%	32%	36%	35%	36%	34%	32%	25%	19%	17%	12%	14%	10%	10%	12%
	香川	42%	33%	41%	53%	44%	35%	38%	38%	32%	33%	25%	24%	24%	22%	18%
	愛媛	27%	37%	38%	32%	30%	29%	35%	27%	21%	16%	25%	24%	16%	17%	19%
	高知	40%	40%	40%	44%	39%	39%	35%	30%	21%	25%	16%	17%	18%	18%	22%
	福岡	26%	52%	70%	86%	77%	63%	54%	38%	32%	26%	25%	29%	28%	26%	21%
	佐賀	35%	37%	36%	41%	37%	29%	33%	25%	19%	21%	23%	30%	31%	27%	23%
	長崎	39%	40%	45%	40%	28%	30%	24%	22%	17%	14%	15%	20%	24%	26%	25%
九州・沖縄	熊本	52%	79%	70%	59%	52%	47%	44%	38%	28%	23%	23%	31%	30%	26%	20%
	大分	43%	41%	44%	37%	33%	33%	32%	30%	24%	24%	27%	23%	20%	24%	19%
	宮崎	34%	36%	38%	39%	33%	39%	41%	27%	16%	11%	21%	23%	24%	26%	18%
	鹿児島	39%	50%	45%	55%	48%	39%	43%	39%	32%	29%	27%	35%	38%	37%	24%
	沖縄	64%	67%	58%	47%	42%	47%	40%	26%	27%	23%	34%	46%	47%	35%	48%

(出所)内閣官房より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国の感染動向：上海は収束間近。一方で北京は大規模な外出制限措置を実施

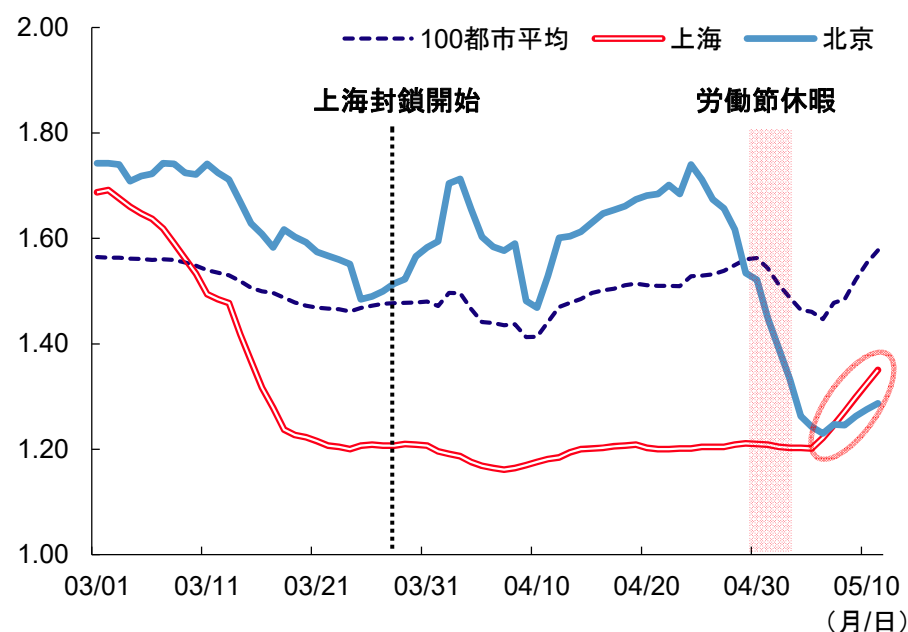
- 上海当局は5月中旬までに隔離対象者以外の新規感染ゼロ(=市中感染ゼロ)達成を目指す
 - 直近1週間の市中感染者は21名まで減少。5/16から商業施設の営業制限を順次解除すると発表
 - 上海の道路交通量は増加に転じる。道路貨物量指数も足元で回復の兆し
 - なお地元紙が5/7までに実施したアンケート調査では、上海企業142社の49%が稼働率3割に満たない状況
- 一方、北京は5/13～15に市の大部分で外出制限措置。5/16からさらに3日間かけて大規模PCR検査を実施へ

国内新規感染者数(上海・北京)



(注)無症状感染者を含む。7日間移動平均。直近は5月14日
(出所)国家衛生健康委員会、CEIC data より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

交通混雑指数



(注)実際の移動時間と非渋滞時の移動時間の比率。7日間移動平均。直近は5月11日
(出所)Wind より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国の感染動向：中国の新規国内感染者数

	新規国内 感染者	新規国内無 症状感染者	北京	天津	河北	遼寧	吉林	上海	江蘇	浙江	江西	山東	河南	広東	広西	四川	貴州	青海
04/16	3,504	21,288	0	0	5	8	656	23,643	87	28	3	23	21	36	17	0	0	10
04/17	2,723	19,729	3	0	0	9	501	21,395	95	68	44	30	10	30	16	0	1	15
04/18	3,297	17,172	2	0	29	17	446	19,442	133	46	51	17	24	14	15	0	0	2
04/19	2,753	16,450	2	0	62	9	326	18,368	100	51	53	25	16	17	6	0	0	2
04/20	2,830	16,052	1	0	94	6	324	18,036	119	32	45	20	26	10	6	8	0	13
04/21	2,119	16,181	1	0	78	4	282	17,486	131	56	42	23	17	4	6	0	0	13
04/22	2,971	20,138	6	0	176	2	258	22,250	131	61	45	23	41	5	2	0	0	7
04/23	1,566	19,653	22	0	117	5	196	20,517	124	34	37	48	32	2	2	0	0	0
04/24	2,666	16,629	19	1	74	3	147	18,609	96	20	130	51	23	3	1	1	0	6
04/25	1,908	14,821	32	2	51	64	126	16,012	114	38	137	64	17	1	2	3	0	2
04/26	1,818	11,096	34	0	14	102	100	12,309	80	32	96	69	17	0	2	1	0	0
04/27	1,494	8,857	50	0	11	55	127	9,764	74	22	89	90	17	0	0	2	1	0
04/28	5,646	4,817	49	0	4	91	56	9,970	49	23	80	44	6	14	2	5	0	0
04/29	1,410	8,280	52	0	2	85	42	9,196	20	25	70	35	5	42	1	36	0	0
04/30	916	6,637	59	1	0	47	31	7,189	9	18	62	20	9	21	0	10	0	0
05/01	846	6,329	39	0	4	96	20	6,804	16	18	37	39	5	18	2	6	0	0
05/02	368	5,483	59	0	5	82	21	5,514	13	34	34	14	6	10	0	1	0	0
05/03	353	4,916	51	0	28	128	40	4,831	25	20	48	15	44	12	1	2	0	0
05/04	360	4,488	50	0	19	100	22	4,466	29	34	41	15	40	17	1	1	0	0
05/05	356	4,083	72	0	11	61	14	4,088	48	24	17	5	79	8	0	0	2	0
05/06	345	4,090	49	0	3	99	23	4,039	70	18	10	4	98	8	0	3	1	1
05/07	319	3,924	62	0	2	85	21	3,840	61	27	8	1	101	22	0	1	0	6
05/08	401	3,623	44	0	1	50	3	3,717	62	17	10	0	60	39	0	0	0	20
05/09	349	2,905	71	0	1	53	6	2,858	55	9	35	0	116	18	0	3	1	26
05/10	302	1,335	35	0	5	60	4	1,289	49	7	44	0	88	20	3	9	2	15
05/11	222	1,519	45	0	10	85	5	1,343	47	20	14	1	98	4	2	25	4	38
05/12	312	1,964	47	1	5	58	0	1,929	35	4	10	0	43	13	1	96	0	30
05/13	253	1,578	55	2	2	33	1	1,541	17	2	5	1	47	5	1	91	1	22
05/14	226	1,372	34	0	9	18	2	1,258	9	3	2	2	29	1	3	207	4	7

(注)新規国内無症状感染者と主要省別新規感染者数(無症状を含む)は、当日の新規国内感染確定者を差し引いた人数

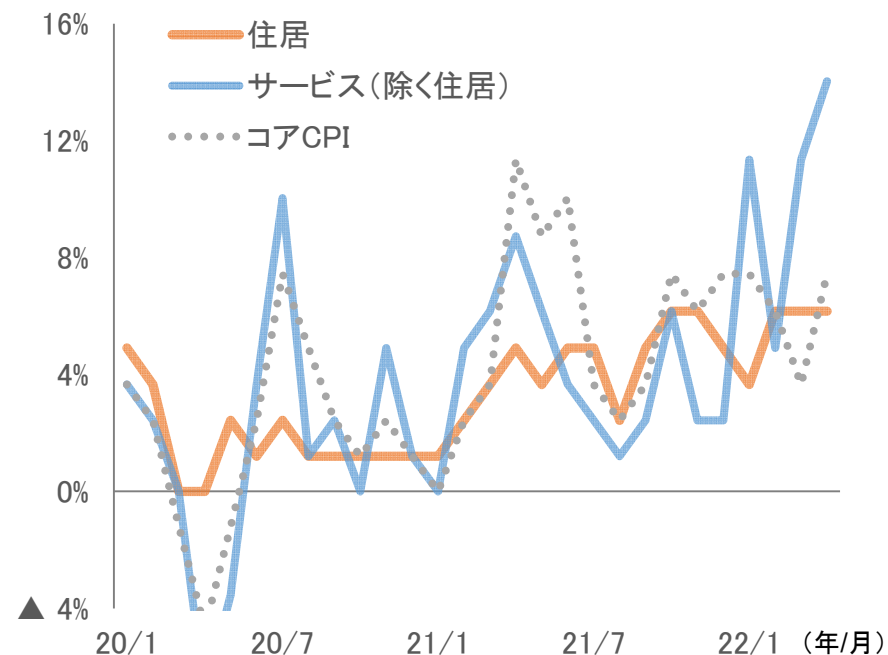
(出所)国家衛生健康委員会、CEIC data より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

米国：インフレ圧力は収まる気配なく、インフレ期待は上振れたまま

- 4月CPI上昇率は、エネルギー物価の下落を受けて前月比+0.3%と2021年8月以来の水準に鈍化
 - ただしエネルギー・食料品を除くコアCPI上昇率は前月比+0.6%（年率換算+7.0%）と加速
 - 慣性力があるとされる住居費に加え、賃金上昇が反映されやすいサービス価格は上昇基調が続いており、インフレ鎮静化の兆しはうかがえず
- NY連銀やミシガン大によれば、消費者のインフレ期待も高止まり

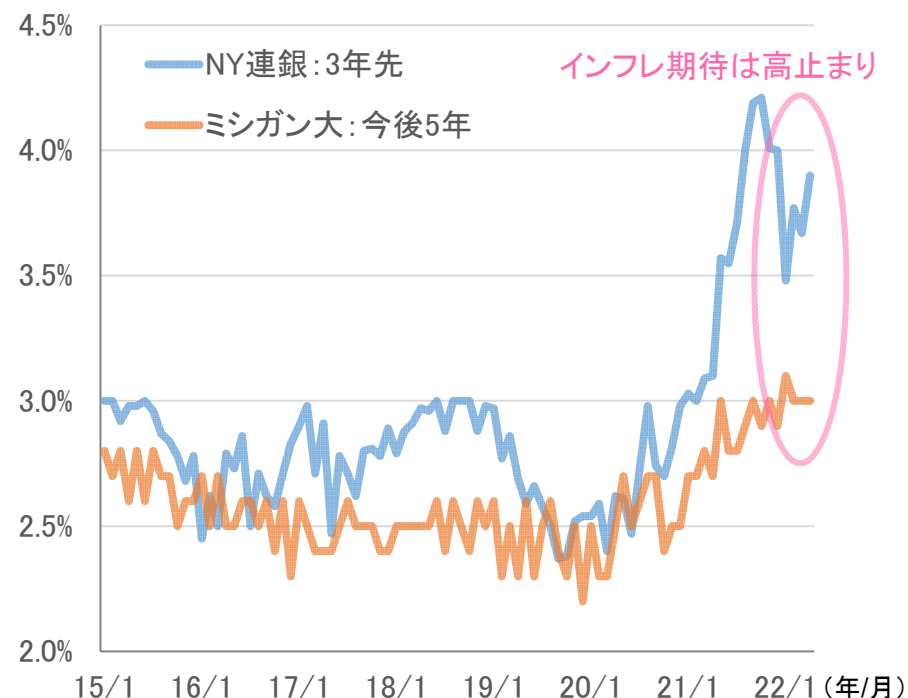
米コアCPIと住居・サービス価格

（前月比年率）



（出所）米国労働省、クリーブランド連銀より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

米消費者のインフレ期待

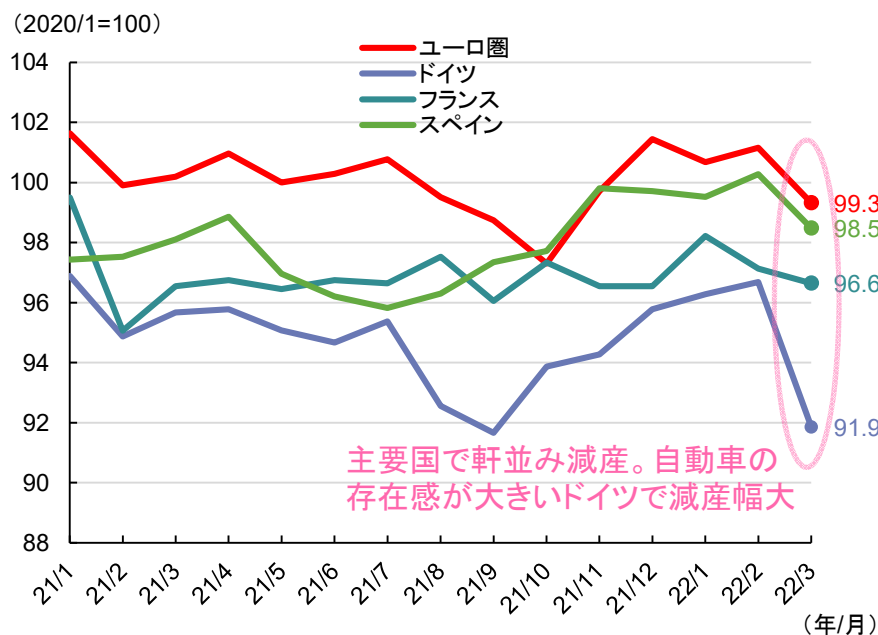


（出所）ニューヨーク連銀、ミシガン大より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

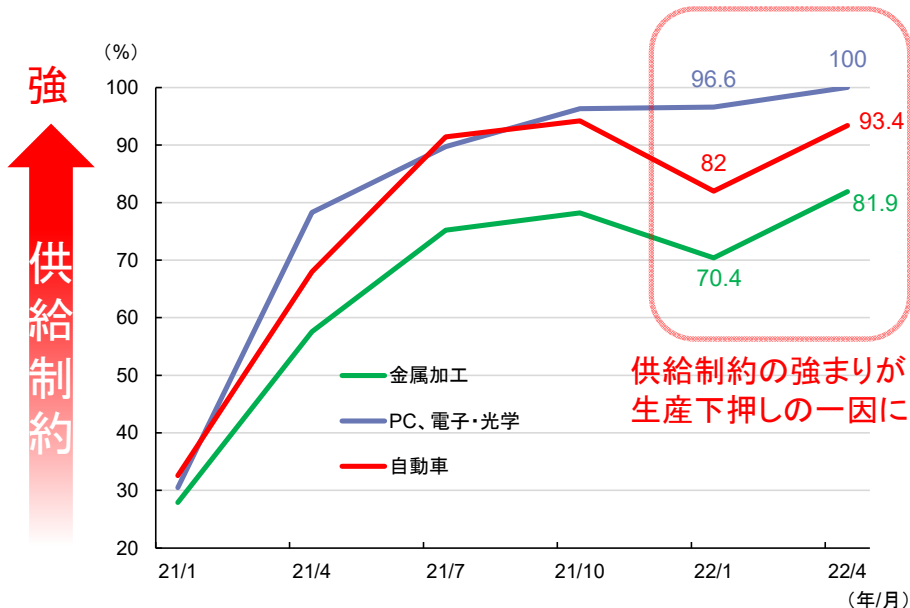
欧州:3月の生産はコスト増や供給制約から減少。ウクライナ侵攻の影響を確認

- 3月ユーロ圏鉱工業生産は前月比▲1.8%と2カ月ぶりに減少
 - ドイツ(同▲5.0%)やフランス(同▲0.5%)、スペイン(同▲1.8%)等主要国が軒並みマイナス
- 減産の背景は原材料価格の高騰や部材の供給制約
 - 自動車を中心に、生産の制約要因に設備や部材の不足を挙げる企業の割合が増加。ウクライナ侵攻を受けた原材料価格高騰による生産コストの増加や供給網混乱に伴う部材調達難が生産の下押し要因に
 - 部材の代替調達進展により生産は持ち直しを見込むも、そのペースは緩慢なものにとどまる公算

ユーロ圏:主要国別鉱工業生産



ドイツ:供給制約の状況



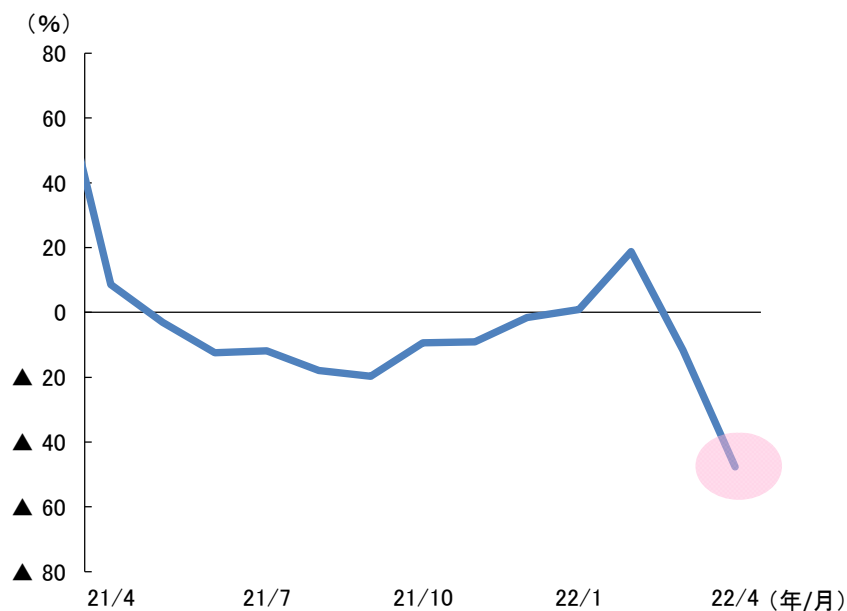
(出所) Eurostatより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(注) 生産制約要因に部材・設備不足と回答した企業の割合。複数回答可
(出所) 欧州委員会より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国:4月自動車販売は感染による需給双方への下押しで大幅減

- 4月の自動車販売は、前年同期比▲43.4%（前月▲11.7%）と大幅減
 - 各地ショールームでの短期的な閉鎖や、生産拠点が比較的集中する吉林省、上海等での感染による減産が影響
 - 業界団体によれば5月初旬の連休（4/30～5/4）での販売実績も前年比約▲30%と低調
- 吉林省や上海での生産活動は徐々に正常化に向かうが、販売の本格的な持ち直しは6月以降の見込み
 - 高頻度データで示される自動車用タイヤ生産の稼働率はなお前年の水準を下回る

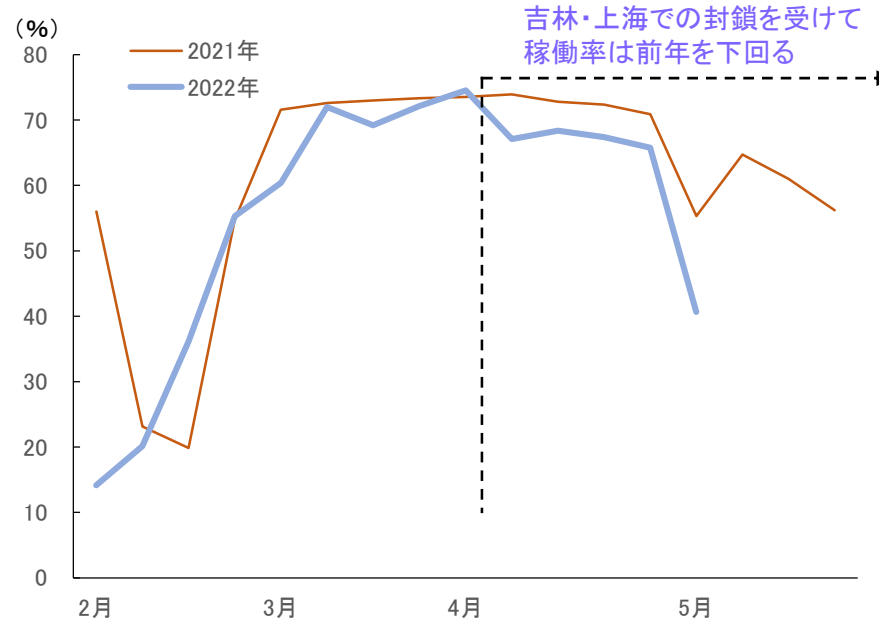
自動車販売（前年同月比）



（注）乗用車と商用車の合計

（出所）中国自動車工業協会、CEICよりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

自動車用タイヤ生産稼働率（週次データ）



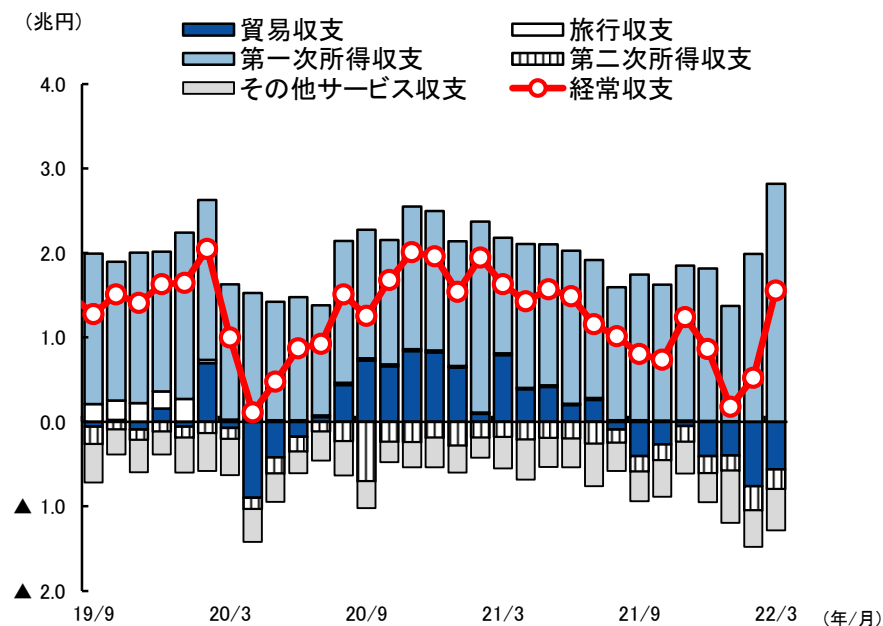
（注）自動車用ハーフスチールタイヤ。2月・5月の落ち込みは春節・労働節休暇によるもの

（出所）windより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本: 4～6月期の経常収支赤字転落は一先ず回避の公算

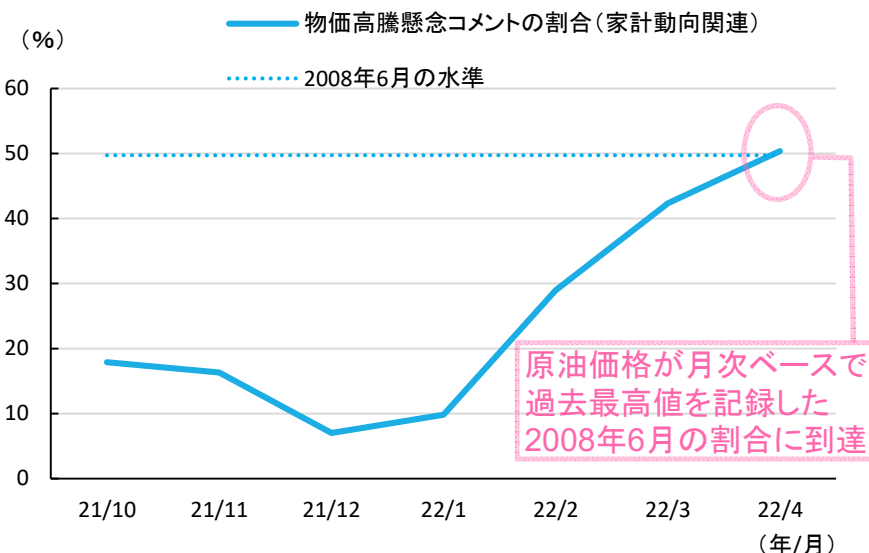
- 3月経常収支は+1.6兆円と黒字幅拡大。貿易赤字の縮小と第一次所得収支の急増が押し上げ
 - 4月は油価上昇の影響から貿易収支が▲1.7兆円(3月実績: ▲0.9兆円)と赤字幅拡大を予想。一方で今のところ原油価格は想定を下回る水準で推移しており、4～6月期の経常収支赤字は回避される公算
- 4月景気ウォッチャー調査は小売関連を中心に物価高騰への警戒感の強まりを示唆
 - 企業の回答コメントをみると、先行きの景気悪化を見込むコメントのうち、物価高騰への懸念を含むコメントの割合が5割を超過。2008年の物価高騰局面以来の高さに

経常収支の推移



(出所) 財務省「国際収支統計」「貿易統計」、日経 NEEDS-Financial QUESTより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

物価高騰への懸念を示す先行き判断コメントの割合



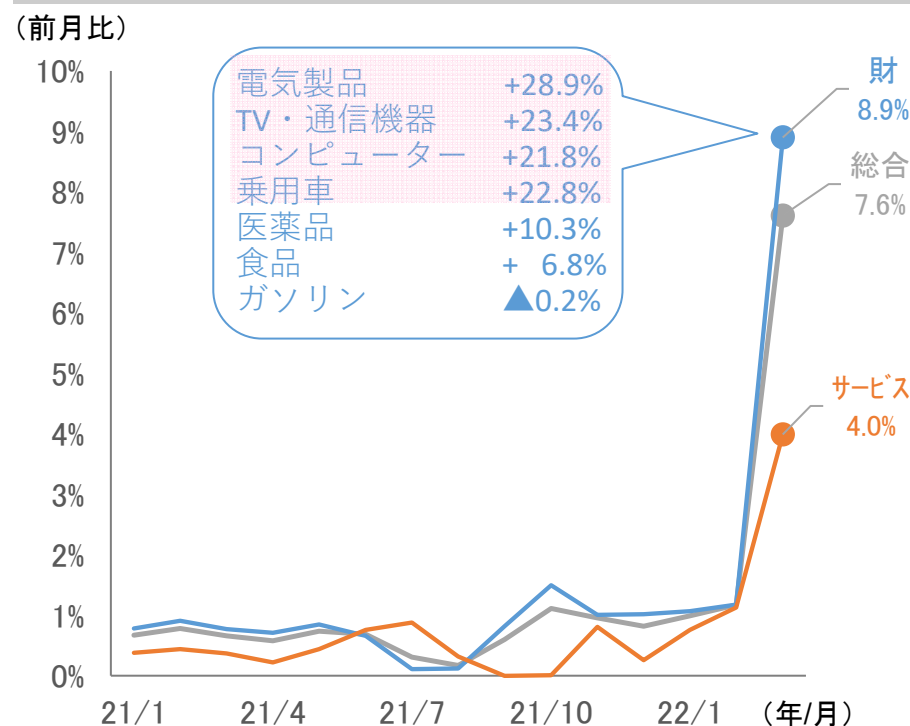
(注) 家計動向関連の「景気の先行き判断」について「悪くなる」、「やや悪くなる」と回答したコメントのうち、物価上昇を示す語が出現した数を合計し、「悪くなる」、「やや悪くなる」のコメント総数で割ったもの

(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

ロシア:3月の消費者物価は急上昇。経済制裁の影響を確認

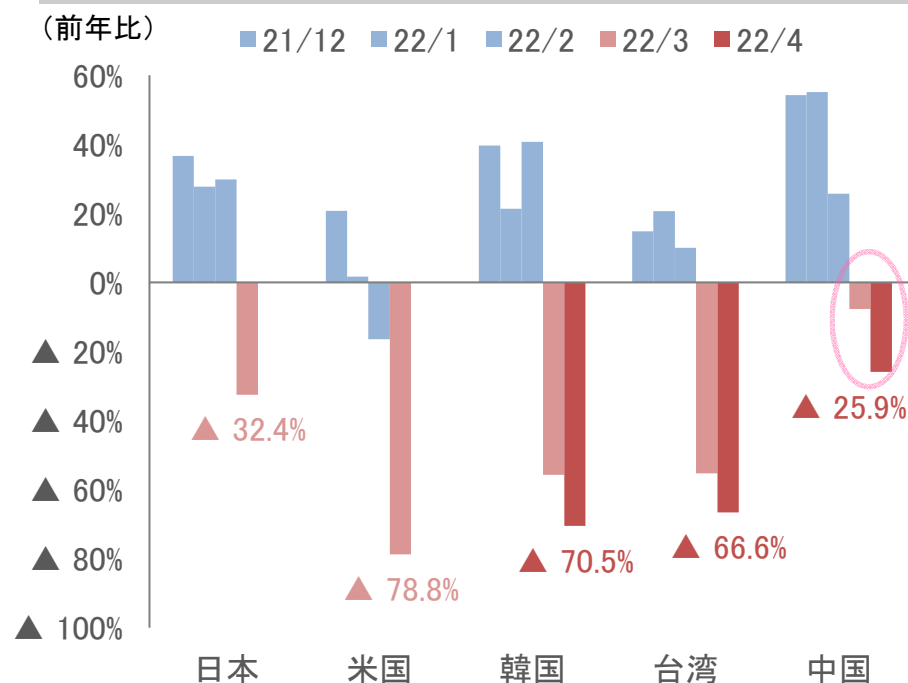
- ロシアの3月消費者物価は前月比7.6%(2月:同1.2%)と急上昇
 - 財物価の上昇(同8.9%←2月:同1.2%)が主因。サービス価格は同4.0%と財に比べて上昇幅は限定的
 - 財の内訳をみると、家電製品やPC、通信機器、乗用車などが軒並み2割を超える上昇幅を記録
- 主要国の対露輸出は3月以降大幅減。4月は中国の輸出減少幅も拡大
 - 最終製品に加え、部材不足でロシア国内の供給も滞っている模様。ルーブル安一服も物価上昇圧力は継続

ロシアの消費者物価



(出所)CEICより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

主要国のロシア向け輸出

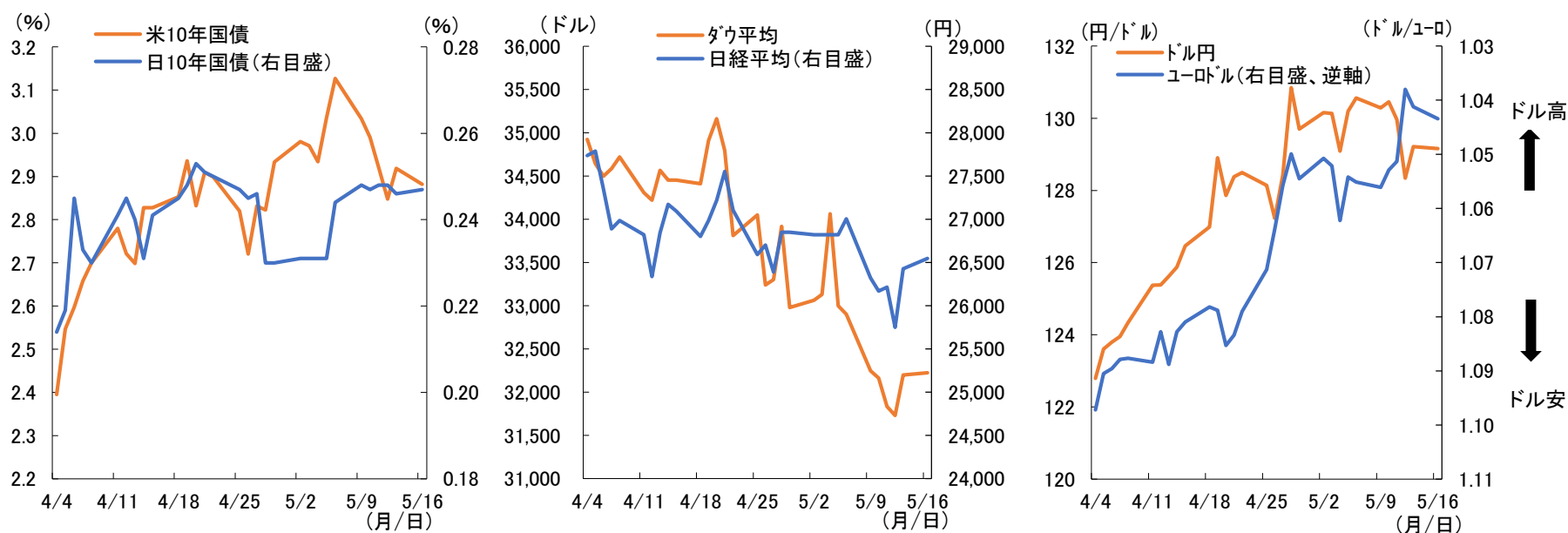


(出所)CEICより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

金融市場：米国株は金融引き締めへの警戒や景気減速懸念から大幅下落後、反発

- 米10年国債利回りは、週初、インフレへの警戒から一時3.20%と2018年11月以来の水準まで上昇。しかし、景気減速懸念による株価下落などを背景に、足元では2.8%台後半まで低下
- ダウ平均は、FRBによる積極的な金融引き締めへの警戒や景気減速懸念を背景に、ハイテク株や一般消費財セクターを中心に大幅に下落し、年初来安値を更新。足元では下げ止まり、反発。日経平均も米国株に連動する形で下落
- ドル円相場は、世界的な株価下落、金利低下というリスクオフの動きから1ドル＝128円台まで円高・ドル安に。ユーロドル相場は、一時2017年1月以来の1ユーロ＝1.03ドル台までユーロ安・ドル高に

主要マーケットの推移



(出所) Bloombergより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料 主要経済指標一覧(実績)

【先週発表分】

日付	経済指標等	今回実績	予想	前回
5/9(月)	日 日銀金融政策決定会合議事要旨(3/17・16分)			
	毎月勤労統計(3月速報) 名目賃金 前年比	+1.2%	+0.9%	+1.2%
	中 貿易収支(4月) 米ドル	+511億 _{ドル}	+535億 _{ドル}	+474億 _{ドル}
	輸出総額(4月) 前年比	+3.9%	+2.7%	+14.7%
	輸入総額(4月) 前年比	±0.0%	▲3.0%	▲0.1%
5/10(火)	日 実質消費支出[二人以上の全世帯](3月) 前年比	▲2.3%	▲3.3%	+1.1%
5/11(水)	日 先行D I 33.3%	N. A.		40.0%
	一致D I 25.0%	N. A.		11.1%
	先行C I 101.0	100.9	R ↑	100.1
	一致C I 97.0	97.0		96.8
	中 消費者物価指数(4月) 前年比	+2.1%	+1.8%	+1.5%
	米 消費者物価指数(4月) 前月比	+0.3%	+0.2%	+1.2%
	[食品・エネルギーを除く] 前月比	+0.6%	+0.4%	+0.3%
	馬 マレーシア金融政策決定会合(10・11日)			
	・政策金利を2.0%に引き上げ			
5/12(木)	日 国際収支(3月速報) 経常収支	+25,493億円	+17,375億円	+16,483億円
	貿易収支	▲1,661億円	+1,005億円	▲1,768億円
	日銀金融政策決定会合における主な意見(4/27・28分)			
	景気ウォッチャー調査(4月) 現状判断D I	50.4	51.0	47.8
	米 生産者物価指数(4月) 前月比	+0.5%	+0.5%	R ↑ +1.6%
	[食品・エネルギーを除く] 前月比	+0.4%	+0.7%	R ↑ +1.2%
5/13(金)	日 M2 前年比	+3.6%	+3.4%	+3.5%
	マネーストック(4月速報) M3 前年比	+3.2%	+3.0%	+3.1%
	広義流動性 前年比	+3.4%	N. A.	+4.2%
	米 ミシガン大消費者信頼感指数(5月速報)	59.1	64.0	65.2
【今週発表分】				
5/16(月)	日 国内企業物価指数(4月) 前月比	+1.2%	+0.8%	R ↑ +0.9%
	前年比	+10.0%	+9.4%	R ↑ +9.7%
	中 鉱工業生産(4月) 前年比	▲2.9%	+0.5%	+5.0%
	米 ニューヨーク連銀製造業業況指数(5月)	▲11.6	+15.0	+24.6

(注) 今週月曜日のデータ。予想は、情報ベンダー(Bloomberg、Reuters等)の取りまとめた予想コンセンサス。米国の経済指標は特に断りのない限り季調値。

Rは改定値(R↑:上方修正、R↓:下方修正)。日:日本、米:米国、欧:欧州、英:英国、独:ドイツ、仏:フランス、中:中国、韓:韓国、印:インド、尼:インドネシア、

泰:タイ、比:フィリピン、伯:ブラジル、馬:マレーシア、亜:アルゼンチン

(出所) Bloomberg、Reuters等より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料 主要経済指標一覧(予定)

【今週発表分】

日付	経済指標等			予想	前回
5/17(火)	日	第3次産業活動指数(3月)	前月比	+1.1%	▲1.3%
	米	鉱工業生産指数(4月)	前月比	+0.5%	+0.9%
		設備稼働率(4月)		78.5%	78.3%
		小売売上高(4月)	前月比	+1.0%	R↑ +0.7%
5/18(水)	日	GDP(1～3月期1次速報)	前期比	▲0.4%	10～12月期 +1.1%
		設備稼働率(3月)	前月比	N.A.	+1.5%
	米	住宅着工件数(4月)	年率	176.0万件	179.3万件
		住宅着工許可件数(4月)	年率	181.2万件	R↓ 187.0万件
	泰	タイ金融政策決定会合			
5/19(木)	日	通関収支 原数値		▲11,500億円	R↓ ▲4,141億円
		貿易統計(4月) 輸出	前年比	+13.9%	+14.7%
		輸入	前年比	+35.0%	+31.2%
		機械受注[船舶・電力を除く民需](3月)	前月比	+3.9%	▲9.8%
			前年比	+3.3%	+4.3%
	米	中古住宅販売件数(4月)	年率	563万件	577万件
		フィラデルフィア連銀製造業業況指数(5月)		+16.5	+17.6
	比	フィリピン金融政策決定会合			
5/20(金)	日	消費者物価(4月全国)	前年比	+2.5%	+1.2%
		[除・生鮮食品]	前年比	+2.0%	+0.8%

(注) 今週月曜日のデータ。予想は、情報ベンダー(Bloomberg、Reuters等)の取りまとめた予想コンセンサス。米国の経済指標は特に断りのない限り季調値。

Rは改定値(R↑:上方修正、R↓:下方修正)。日:日本、米:米国、欧:欧州、英:英国、独:ドイツ、仏:フランス、中:中国、韓:韓国、印:インド、尼:インドネシア、

泰:タイ、比:フィリピン、伯:ブラジル、馬:マレーシア、亜:アルゼンチン

(出所) Bloomberg、Reuters等より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料2-1
 今月のスケジュール(5・6月)

【5月のスケジュール】

国 内			海 外 他		
1			1		
2	新車販売台数(4月)		2	米	製造業 I S M 指数(4月)
3	憲法記念日(日本休場)		3	米	製造業新規受注(3月)
4	みどりの日(日本休場)		4	米	FOMC(3・4日)、貿易収支(3月)
					非製造業 I S M 指数(4月)
5	こどもの日(日本休場)		5	米	労働生産性(1～3月期暫定)
				英	英中銀金融政策委員会(4・5日)
6	消費者物価(4月都区部)		6	米	雇用統計(4月)
7			7		
8			8		
9	日銀金融政策決定会合議事要旨(3/17・16分)		9		
	毎月勤労統計(3月速報)				
10	家計調査(3月)、10年利付国債入札		10	米	3年国債入札
11	景気動向指数(3月速報)		11	米	連邦財政収支(4月)、C P I (4月)
					10年国債入札
12	国際収支(3月速報)		12	米	P P I (4月)
	日銀金融政策決定会合における主な意見(4/27・28分)				30年国債入札
	景気ウォッチャー調査(4月)				
13	マネーストック(4月速報)		13	米	ミシガン大学消費者信頼感指数(5月速報)
14			14		
15			15		
16	企業物価指数(4月)		16	米	ネット対米証券投資(3月)
	10年物価連動国債入札				ニューヨーク連銀製造業業況指数(5月)
17	第3次産業活動指数(3月)		17	米	パウエルFRB議長討論会(ウォールストリートジャーナル)
					鉱工業生産・設備稼働率(4月)
					小売売上高(4月)
18	G D P (1～3月期1次速報)		18	米	住宅着工・許可件数(4月)
	設備稼働率(3月)、5年利付国債入札				
19	貿易統計(4月)		19	米	中古住宅販売件数(4月)
	機械受注統計(3月)				フィラデルフィア連銀製造業業況指数(5月)
					景気先行指数(4月)
20	消費者物価(4月全国)、20年利付国債入札		20		
21			21		
22			22		
23			23	独	ifo景況感指数(5月)
24			24	米	新築住宅販売件数(4月)、2年国債入札
25	黒田日銀総裁挨拶		25	米	耐久財受注(4月)、FOMC議事録(5/3・4分)
	(日本銀行金融研究所主催2022年国際コンファランス)				5年国債入札
26	40年利付国債入札		26	米	G D P (1～3月期暫定)、企業収益(1～3月期暫定)
					7年国債入札
27	消費者物価(5月都区部)		27	米	ミシガン大学消費者信頼感指数(5月確報)
					個人所得・消費支出(4月)
28			28		
29			29		
30			30	米	メモリアルデー(米国休場)
31	鉱工業生産(4月速報)、商業動態統計(4月速報)		31	米	シカゴ P M I 指数(5月)
	労働力調査(4月)、消費動向調査(5月)				カンファレンスボード消費者信頼感指数(5月)
	住宅着工統計(4月)、2年利付国債入札				

(注) 網掛け部分は休場を示す。予定は変更の可能性があります(出所)各種資料より、みずほサーチ&テクノロジーズ作成

【6月のスケジュール】

国 内			海 外 他		
1	法人企業統計調査(1～3月期)		1	米	製造業 I S M 指数(5月)
	新車販売台数(5月)				ページブック(地区連銀経済報告)
2	10年利付国債入札		2	米	製造業新規受注(4月)
					労働生産性(1～3月期改訂)
3			3	米	非製造業 I S M 指数(5月)、雇用統計(5月)
4			4		
5			5		
6			6		
7	家計調査(4月)、景気動向指数(4月速報)		7	米	貿易収支(4月)
	毎月勤労統計(4月速報)、30年利付国債入札				3年国債入札
8	国際収支(4月速報)、景気ウォッチャー調査(5月)		8	米	10年国債入札
	G D P (1～3月期2次速報)				
9	マネーストック(5月速報)		9	米	30年国債入札
				欧	E C B 政策理事会
10	企業物価指数(5月)		10	米	ミシガン大学消費者信頼感指数(6月速報)
					連邦財政収支(5月)、C P I (5月)
11			11		
12			12		
13	法人企業景気予測調査(4～6月期)		13		
14	設備稼働率(4月)		14	米	P P I (5月)
15	機械受注統計(4月)		15	米	FOMC(14・15日)
	第3次産業活動指数(4月)				ネット対米証券投資(4月)
					小売売上高(5月)
16	貿易統計(5月)		16	米	住宅着工・許可件数(5月)
				英	フィラデルフィア連銀製造業業況指数(6月)
					英中銀金融政策委員会(15・16日)
17	日銀金融政策決定会合(16・17日)		17	米	鉱工業生産・設備稼働率(5月)
	日銀総裁定例記者会見				景気先行指数(5月)
18			18		
19			19		
20			20		
21	5年利付国債入札		21	米	中古住宅販売件数(5月)
22	日銀金融政策決定会合議事要旨(4/27・28分)		22		
23	20年利付国債入札		23		
24	消費者物価(5月全国)		24	米	ミシガン大学消費者信頼感指数(6月確報)
				独	新築住宅販売件数(5月)
					ifo景況感指数(6月)
25			25		
26			26		
27	資金循環統計(1～3月期速報)		27	米	耐久財受注(5月)
	日銀金融政策決定会合における主な意見(6/16・17分)				2年国債入札、5年国債入札
28	2年利付国債入札		28	米	経常収支(1～3月期)
					カンファレンスボード消費者信頼感指数(6月)
					7年国債入札
29	商業動態統計(5月速報)、消費動向調査(6月)		29	米	G D P (1～3月期確定)、企業収益(1～3月期改訂)
30	鉱工業生産(5月速報)		30	米	個人所得・消費支出(5月)
	住宅着工統計(5月)				シカゴ P M I 指数(6月)

(注) 網掛け部分は休場を示す。予定は変更の可能性があります(出所)各種資料より、みずほサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料2-2 日本 四半期スケジュール(7～9月)

	7月	8月	9月
日 本	1 新車販売台数(6月) 日銀短観(6月調査) 労働力調査(5月) 消費者物価(6月都区部)	1 新車販売台数(7月) 5 家計調査(6月) 毎月勤労統計(6月速報) 景気動向指数(6月速報)	1 法人企業統計調査(4～6月期) 新車販売台数(8月) 6 家計調査(7月) 毎月勤労統計(7月速報)
	5 毎月勤労統計(5月速報) 10年利付国債入札	8 国際収支(6月速報) 景気ウォッチャー調査(7月)	8 国際収支(7月速報) GDP(4～6月期2次速報)
	7 景気動向指数(5月速報) 30年利付国債入札	9 マネースtock(7月速報)	景気ウォッチャー調査(8月)
	8 国際収支(5月速報) 景気ウォッチャー調査(6月) 家計調査(5月)	10 企業物価指数(7月) 15 設備稼働率(6月) GDP(4～6月期1次速報)	9 マネースtock(8月速報) 13 企業物価指数(8月) 法人企業景気予測調査(7～9月期)
	11 マネースtock(6月速報) 機械受注統計(5月)	16 第3次産業活動指数(6月) 17 貿易統計(7月) 機械受注統計(6月)	14 設備稼働率(7月) 機械受注統計(7月)
	12 企業物価指数(6月) 5年利付国債入札	19 消費者物価(7月全国)	15 貿易統計(8月) 第3次産業活動指数(7月)
	14 設備稼働率(5月) 20年利付国債入札	26 消費者物価(8月都区部)	20 資金循環統計(4～6月期速報) 消費者物価(8月全国)
	15 第3次産業活動指数(5月)	30 労働力調査(7月)	22 日銀金融政策決定会合(21・22日) 日銀総裁定例記者会見
	21 日銀金融政策決定会合(20・21日) 日銀総裁定例記者会見 日銀「経済・物価情勢の展望」(基本的見解) 貿易統計(6月)	31 鉱工業生産(7月速報) 商業動態統計(7月速報)	30 鉱工業生産(8月速報) 商業動態統計(8月速報) 労働力調査(8月)
	22 消費者物価(6月全国)		
	26 40年利付国債入札		
	28 2年利付国債入札		
	29 鉱工業生産(6月速報) 商業動態統計(6月速報) 労働力調査(6月) 消費者物価(7月都区部) 消費動向調査(7月)		

(注) 予定は変更の可能性があります

(出所) 各種資料より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料2-3 米国・欧州 四半期スケジュール(7～9月)

	7月	8月	9月
米 国	1 製造業ISM指数(6月)	1 製造業ISM指数(7月)	1 製造業ISM指数(8月)
	6 非製造業ISM指数(6月)	3 非製造業ISM指数(7月)	労働生産性(4～6月期改訂)
	FOMC議事録(6/14・15分)	4 貿易収支(6月)	2 雇用統計(8月)
	7 貿易収支(5月)	5 雇用統計(7月)	6 非製造業ISM指数(8月)
	8 雇用統計(6月)	9 労働生産性(4～6月期暫定)	7 貿易収支(7月)
	11 3年国債入札	3年国債入札	ベージュブック(地区連銀経済報告)
	12 10年国債入札	10 連邦財政収支(7月)	12 3年国債入札
	13 連邦財政収支(6月)	CPI(7月)	10年国債入札
	CPI(6月)	10年国債入札	13 連邦財政収支(8月)
	ベージュブック(地区連銀経済報告)	11 PPI(7月)	13 CPI(8月)
	30年国債入札	30年国債入札	30年国債入札
	14 PPI(6月)	12 ミシガン大学消費者信頼感指数(8月速報)	14 PPI(8月)
	15 ミシガン大学消費者信頼感指数(7月速報)	15 ニューヨーク連銀製造業業況指数(8月)	15 鉱工業生産・設備稼働率(8月)
	鉱工業生産・設備稼働率(6月)	16 鉱工業生産・設備稼働率(7月)	小売売上高(8月)
	小売売上高(6月)	住宅着工・許可件数(7月)	フィラデルフィア連銀製造業業況指数(9月)
	ニューヨーク連銀製造業業況指数(7月)	17 小売売上高(7月)	ニューヨーク連銀製造業業況指数(9月)
	19 住宅着工・許可件数(6月)	FOMC議事録(7/26・27分)	16 ミシガン大学消費者信頼感指数(9月速報)
	20 中古住宅販売件数(6月)	18 中古住宅販売件数(7月)	20 住宅着工・許可件数(8月)
	21 フィラデルフィア連銀製造業業況指数(7月)	フィラデルフィア連銀製造業業況指数(8月)	21 FOMC(20・21日)
	景気先行指数(6月)	景気先行指数(7月)	中古住宅販売件数(8月)
	25 2年国債入札	23 新築住宅販売件数(7月)	22 経常収支(4～6月期)
	26 新築住宅販売件数(6月)	2年国債入札	景気先行指数(8月)
	カンファレンスボード消費者信頼感指数(7月)	24 耐久財受注(7月)	26 2年国債入札
	5年国債入札	5年国債入札	27 新築住宅販売件数(8月)
	27 FOMC(26・27日)	25 GDP(4～6月期暫定)	耐久財受注(8月)
	耐久財受注(6月)	企業収益(4～6月期暫定)	カンファレンスボード消費者信頼感指数(9月)
	28 GDP(4～6月期速報)	7年国債入札	5年国債入札
	7年国債入札	26 ミシガン大学消費者信頼感指数(8月確報)	28 7年国債入札
	29 ミシガン大学消費者信頼感指数(7月確報)	個人所得・消費支出(7月)	29 GDP(4～6月期確定)
	個人所得・消費支出(6月)	30 カンファレンスボード消費者信頼感指数(8月)	企業収益(4～6月期改訂)
	雇用コスト指数(4～6月期)	31 シカゴPMI指数(8月)	30 ミシガン大学消費者信頼感指数(9月確報)
	シカゴPMI指数(7月)		個人所得・消費支出(8月)
			シカゴPMI指数(9月)
欧 州	21 ECB政策理事会	4 英中銀金融政策委員会(3・4日)	8 ECB政策理事会
			15 英中銀金融政策委員会(14・15日)

(注) 予定は変更の可能性があります

(出所) 各種資料より、みずほサーチ&テクノロジーズ作成

・米国経済	小野亮 小野寺莉乃	makoto.ono@mizuho-rt.co.jp rino.onodera@mizuho-rt.co.jp
・欧州経済	小林公司 川畑大地	koji8.kobayashi@mizuho-rt.co.jp daichi.kawabata@mizuho-rt.co.jp
・中国経済	伊藤秀樹 月岡直樹	hideki.ito@mizuho-rt.co.jp naoki.tsukioka@mizuho-rt.co.jp
・アジア経済	越山祐資	yusuke.koshiyama@mizuho-rt.co.jp
・新興国経済	対木さおり 田村優衣	saori.tsuiki@mizuho-rt.co.jp yui.tamura@mizuho-rt.co.jp
・日本経済	酒井才介 諏訪健太	saisuke.sakai@mizuho-rt.co.jp kenta.suwa@mizuho-rt.co.jp
・コロナ関連	服部直樹	naoki.hattori@mizuho-rt.co.jp
・金融市場	川本隆雄 坂本明日香 井上淳	takao.kawamoto@mizuho-rt.co.jp asuka.sakamoto@mizuho-rt.co.jp jun.inoue@mizuho-rt.co.jp

★次回の発刊は、5月24日(火)を予定しております

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。なお、当社は本情報を無償でのみ提供しております。当社からの無償の情報提供をお望みにならない場合には、配信停止を希望する旨をお知らせ願います。